

付録 2-2. 配慮書チェックリスト

No.	分類	チェックリスト項目	該当の有無	該当頁※
1	事前相談	・法令上の区域指定の状況や環境保全上配慮すべき状況等の基本情報が整理されているか。		
2		・配慮書手続前に、市町村や県に対し、事業の基本情報をもとにした相談をしているか。		
3		・関係法令の手続状況（自治体の担当部署への事前相談の状況等）が整理されているか。		
4	地域住民への周知説明	・配慮書手続前に、市町村からの助言等を踏まえ、適切な範囲の地域住民等に対し、適切な手法で風力発電施設の設置を計画していることを周知しているか。		
5		・配慮書手続前に計画を周知するに当たって、地域住民等から土地や周辺環境の状況についての情報や計画に関する懸念事項等を聴き取っているか。		
6		・配慮書手続中に、市町村からの助言等を踏まえ、適切な範囲の地域住民等に対し、適切な手法で配慮書の内容を説明し意見を聴取する計画を立てているか。		
7		・地域との円滑なコミュニケーションに向けた配慮（縦覧期間後の図書の継続公表、閲覧図書の印刷可など）が行われているか。		
8	考え方の聴取	・関係自治体における「促進区域」の検討過程で明確化される環境配慮の考え方（考慮すべき環境配慮事項、望ましい事業の規模・形態、環境保全措置のあり方）について、当該自治体、関係機関及び地域住民の意見を聴取しているか。		
9	複数案	・複数案が設定されている場合は、重大な環境影響の予測結果を踏まえ、風車の位置や配置計画、工事計画を見直して影響を回避又は低減できるよう、複数案ごとに影響の重大性の程度を整理・比較しているか。		
10		・複数案が設定されていない場合は、重大な環境影響が、実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているかどうかの検討を行っているか。		
11	重大な環境影響	・重大な影響を受けるおそれのある環境要素（重大な環境影響）を事業特性及び地域特性を勘案して適切に設定しているか。		
12		・重大な環境影響として選定しない項目について、計画段階配慮での取扱いの必要性を吟味した上で、重大な環境影響として取り扱わない理由を記載しているか。		
13		・工事による重大な環境影響が懸念される場合、計画段階配慮事項を適切に選定しているか。		
14	調査・予測・評価の手法	・複数案における重大な環境影響を比較検討できる評価指標に応じ、適切な評価、予測、調査手法を選定し、その選定理由を記載しているか。		
15		・専門家等へのヒアリングを行い、聴取した意見を踏まえた環境影響の予測及び評価を実施し、その結果を記載しているか。		
16		・予測手法の特徴及びその適用範囲、予測地域の設定の根拠、予測の前提となる条件その他の予測に関する事項のそれぞれについて、その内容及び妥当性を予測の結果との関係と併せて記載しているか。		
17		・文献調査や専門家等へのヒアリング結果を踏まえ、重大な環境影響の有無や程度、環境保全目標との整合について比較整理をしているか。		
18	事業計画	・地域の環境保全、産業振興、コミュニティの活性化への貢献などの観点から、当該事業の実施について経営計画にどのように位置づけているかを分かりやすく整理しているか。		

No.	分類	チェックリスト項目	該当の有無	該当頁※
19	事業計画の全体スケジュール	・事業計画（事業の位置及び規模（総出力）、配置計画、工事計画等）を適切に策定しているか。		
20		・事業性調査段階から運転開始までの事業スケジュールが整理されているか。		
21		・前倒環境調査を実施している場合は、前倒し調査の時期、内容が整理されているか。		
22	風況	・文献調査や実地調査による風況データを踏まえた有望地域の抽出状況について整理されているか。		
23		・月別平均風速や年間風向出現率等の風況データの収集状況が整理されているか。		
24		・風況と風車の性能から推定した年間発電量、二酸化炭素削減量その他の事業の社会的効果や、売電金額、総事業費その他の事業の経済的効果を算定しているか。		
25	自然条件	・事業実施想定区域の詳細な標高や傾斜などの地形条件を把握できる図面は整備されているか。		
26		・着雪・着氷に関する統計量など地域特性に応じた気象条件は整理されているか。		
27		・風車の設置する土地の地形や傾斜、林地の分布状況などの土地の安定性の状況を把握できる図面は整備されているか。		
28	社会条件	・事業実施想定区域内の用地（風車立地予定箇所のほか林道等の搬入用道路を含む）の所有者から、土地や周辺環境の状況についての情報や計画に関する懸念事項等を聴き取っているか。		
29		・環境保全等の観点から設置規制のあるエリアや配慮すべきエリアについて、環境影響を考慮する重要な対象として把握し、その重要性の程度や特性を考慮し、複数案ごとに重大な環境影響の程度を整理、比較しているか。		
30		・系統連系の検討状況（連系可能な既設の送・配電線、変電所等との距離や系統連系の状況、事前相談等の状況等）について整理しているか。		
31		・輸送道路の検討状況（輸送道路の想定ルート、近隣住宅等の状況、支障箇所の有無及びその位置・状況等）について整理し、複数案ごとに車両通行や線形確保のための道路の造成工事による重大な影響の程度を比較しているか。		
32	導入規模の想定	・事業性調査段階の導入規模（総出力）、風車の規模・基数、風車設置候補地点を示した図面は整備されているか。		
33		・コウモリへの影響を回避するため、カットイン風速の調整やフェザリングの実施が遠隔操作で可能な機種選定の検討状況や今後の方針が整理されているか。		
34	累積的な影響	・事業実施想定区域及びその周辺に、他の風力発電所との累積的な影響により環境が著しく悪化するおそれが高い地域が含まれる場合は、重大な環境影響を受けるおそれがある環境要素を適切に選定しているか。		
35		・周辺に既設又は計画中の風力発電所がある場合は、諸元、位置関係図、供用開始時期等の情報は整理されているか。		
36		・累積的な影響を明らかにするため、他の事業者との情報交換（情報の提供及び収集）を積極的に実施しているか。		
37	騒音	・5万分の1以上の縮尺、事業実施想定区域から500m単位で被影響対象の有無を示した図面を記載し、その距離ごとの数を記載しているか。		
38		・住宅、学校、医療機関、福祉施設その他の留意すべき施設（人と自然との触れ合いの活動の場を含む）と事業実施想定区域からの距離を施設ごとに比較し記載しているか。		

No.	分類	チェックリスト項目	該当の有無	該当頁※
39		・ 事業実施想定区域及びその周囲 1～2 kmの範囲内に、住宅、学校、医療機関、福祉施設その他の留意すべき施設がある場合は、「距離減衰」及び「騒音レベル合成」の予測式を用いた風車騒音の予測を行っているか。		
40		・ 騒音に係る環境基準の類型指定がない地域について、静穏性の高さなどの地域特性を十分に考慮した評価を行っているか。		
41		・ 騒音・超低周波音の健康影響に関する疫学調査の状況を踏まえた地域との適切なコミュニケーションの実施や施設の稼働計画の検討を行っているか。		
42		・ 予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		
43		・ 計画段階配慮事項の検討を踏まえ、風力発電施設と住宅、学校、医療機関、福祉施設その他の留意すべき施設との距離が十分に離れている計画となっているか。		
44	水質	・ 普通河川、沢筋、水道水源、取水施設、水源かん養保安林等の位置を記載しているか。		
45		・ 事業実施想定区域から流下方向へ一定範囲に含まれる被影響対象（取水施設、漁場等）の数、事業実施想定区域からの隔離距離を記載しているか。		
46		・ 予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		
47		・ 計画段階配慮事項の検討を踏まえ、水道水源、取水施設への環境影響を回避又は極力低減する計画となっているか。		
48	地形及び地質、地盤（土地の安定性）	・ 重要な地形及び地質、土地の安定性を確保すべき対象・場（土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林、砂防指定地、山地災害危険地区、地すべり地形等）の位置を記載しているか。		
49		・ 造成に伴い地盤の安定性を変化させる法面の面積、土量、勾配を整理しているか。		
50		・ 予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		
51		・ 計画段階配慮事項の検討を踏まえ、土砂災害（特別）警戒区域、山地災害危険地区、新たな「土砂災害が発生する恐れがある箇所」への環境影響を回避又は極力低減する計画となっているか。		
52	風車の影	・ 5万分の1以上の縮尺、事業実施想定区域から 500m単位で被影響対象の有無を示した図面を記載し、その距離ごとの数を記載しているか。		
53		・ 学校、医療機関、福祉施設その他の留意すべき施設（人と自然との触れ合いの活動の場を含む）と事業実施想定区域からの距離を施設ごとに比較し記載しているか。		
54		・ 風車の影に関する疫学調査の状況を踏まえた地域との適切なコミュニケーションの実施や施設の稼働計画の検討を行っているか。		
55		・ 予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		

No.	分類	チェックリスト項目	該当の有無	該当頁※
56		・計画段階配慮事項の検討を踏まえ、風力発電施設と住宅、学校、医療機関、福祉施設その他の留意すべき施設との距離が十分に離れている計画となっているか。		
57	動物・植物	・重要な種の選定に当たって設定したキーワードを記載しているか。		
58		・植生に関する図表について、植物群落のクラス名、大分類名、凡例の色やNo.、植生自然度の対応が分かりやすく示されているか。		
59		・広域的な視点で調査範囲を設定し、既存情報や専門家ヒアリングで得られた情報を用いて解析的な手法により個々の重要な種に対する重大な影響を記載しているか。		
60		・動物、植物に対する重大な影響の有無や事業実施想定区域の絞り込み過程における影響の差を丁寧に記載しているか。		
61		・予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		
62		・計画段階配慮事項の検討を踏まえ、巨樹、巨木林に該当する重要な群落への環境影響を回避又は極力低減する計画となっているか。		
63		・計画段階配慮事項の検討を踏まえ、生物多様性の保全の鍵になる地域（KBA）、生物多様性保全上重要な里地里山、緑の回廊等への環境影響を回避又は極力低減する計画となっているか。		
64	生態系	・生態系ネットワークを考慮した広域的な視点で調査範囲を設定し、既存情報や専門家ヒアリングで得られた情報を用いて解析的な手法により重要な自然環境のまとまりの場に対する影響を記載しているか。		
65		・水域生態系を含む生食連鎖や腐食連鎖等を通じたカスケード効果について食物連鎖図及び説明を記載しているか。		
66		・予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		
67	猛禽類	・専門家のヒアリングを行い、その結果を記載しているか。		
68		・行動圏が広い種の特性を踏まえ、その大きさを考慮して調査範囲を設定し、既存資料や専門家ヒアリングから得られた情報を用いて解析的な手法により生息状況を推定しているか。		
69		・イヌワシに対する重大な影響の有無や事業実施想定区域の絞り込み過程における影響の差を丁寧に記載しているか。		
70		・事業実施想定区域から 10 km圏内の他事業との累積的影響が整理されているか。		
71		・予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		
72	景観	・景観資源、眺望点、住居の分布状況を踏まえ、眺望点や住居のまとまりごとに眺望範囲、眺望方向、眺望対象、眺望構成要素等を整理した図表を記載しているか。		
73		・主要な眺望点や住居等からの眺望景観の予測において、変化の有無、影響の程度などについて客観的に記載しているか。		
74		・地域における重要な眺望景観がある場合、風車の仮配置位置で最大高さの風車を想定したフォトモンタージュによる眺望景観の予測が整理されているか。		

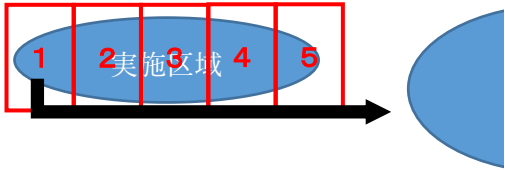
No.	分類	チェックリスト項目	該当の有無	該当頁 ※
75		・眺望景観について他事業との累積的影響が整理されているか。		
76		・予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		
77	人と自然との 触れ合いの活動の場	・人々の利用状況、地域住民の生活状況等を踏まえ、歴史・文化的な観点も考慮し、人と自然との豊かな触れ合いの重要な対象を整理した図表を記載しているか。		
78		・人と自然との触れ合いの活動の場と事業実施想定区域からの距離を活動の場ごとに比較し記載しているか。		
79		・予測結果を踏まえ、計画段階における複数案の検討に基づく配慮事項（重大な環境影響の回避及び低減の対象となる被影響対象、回避及び低減の具体的内容等）の検討結果を記載しているか。		
80	その他の留意事項	・配慮書の図表や文章等について、地域住民等が理解しやすいように、記載上の工夫や配慮を行っているか。（別添）		

※ 「該当頁」については、配慮書に記載の場合は「配-p●」、補足説明資料（非公開版）に記載の場合は「補足」、記載がない場合は「理由-No.●」（別紙）等と記入すること。

チェックリスト項目に該当する場合、配慮書又は補足説明資料に記載がない理由を記載

No	配慮書又は補足説明資料に記載がない理由

チェックリスト（別添） 図表・文章等の留意事項

No.	分類	チェックリスト項目	点検結果 (○×)	備考
1	全体	・図、表等を活用し、地域住民等だれもがわかりやすい内容となるよう配慮がなされているか。		
2		・専門的な単語や表現は、専門的な知識がない者でもわかりやすい説明・表記とするよう配慮がなされているか。 (注釈を加える、わかりやすい言葉に置き換える、具体的な例示をする、画像で示す など)		
3		・略称の表示は、正式名称も併記するなど、読者に配慮しているか。		
4		・表記方法が全体を通じて統一されているか。 (年月日表示、地図の地点表示、番号 (No.、数字のみ、丸囲み数字 など)、飛翔図における高度ごとの矢印の配色)		
5		・体裁は整っているか。 (誤字・脱字の有無、文字レイアウト、フォント (字体) など)		
6		・文字は読みやすい表示となっているか。 (大きさ (1文字当たり 2 mm×2 mm (MS 明朝 7pt 程度) 以上を基本とする)・配色・フォント (字体) など)		
7		・単位の記載漏れはないか。		
8		・騒音や振動の評価量などの記述の場合は、立体表記や斜体表記が正しく用いられているか。		
9		・図書全体の通しページ番号も併記されているか。		
10	地図、写真、図、グラフ	・地図やグラフには凡例を付しているか。		
11		・要素別に見分けやすい配色としているか。		
12		・要素別の配色は各図間で統一されているか。(特段の事情がある場合を除く)		
13		・凡例に記載された名称に不足・誤りがないか。 【例】 ○○県立自然公園 第○種普通地域		
14		・方角、縮尺を付しているか。		
15	<p>・適切な縮尺を用いているか。縮尺が小さく内容が判別しにくい場合は、全体図に加え、エリアを複数に分割した大縮尺の図も併用するなど工夫しているか。(この際、各詳細図面の前に全体図に各詳細図面との連動を追記した図 (※) も追加することが望ましい。)</p> <p>【全体図 (※連動追記あり)】 【大縮尺図 1】</p> 			
16		・位置の把握がしやすいように、市町村名及び地名その他の情報が地図上に表示されているか。		
17		・表示の大きさは適切か。写真の解像度は適切か。 (鮮明に表示されているか)		
18	データ類	・入手可能かつできるだけ最新の文献その他の資料から情報を把握しているか。		
19		・出典、調査時期や閲覧時期の情報を注記しているか。		
20	非公表情報の取扱	・審査上重要な情報であるが、公表すれば公共の安全や希少野生動物の生息・生育に重大な影響を及ぼすおそれがある情報が含まれている場合は、非公表情報が表示されていない縦覧用の図書を別途作成するなど、非公表情報の取扱を適切に行っているか。		